



関中央ロータリークラブ

2022-2023 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022~2023年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2100回例会 2023年5月11日(木) 担当 ニコボックス委員会
卓話 (有)関環境サービス 専務取締役 溝口 泰史様
テーマ 「高純度バイオディーゼル燃料について」

前例会の記録 第2099回 2023年4月27日(木)

会員卓話 川上 勉会員

テーマ 親睦と奉仕(例会出席)

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

*会長あいさつ 藤村伸隆会長

皆さん、こんばんは。本日の例会は会員卓話で川上さんに「親睦と奉仕」というテーマでお話頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

前回のご挨拶でもコロナ感染についてふれさせて頂き、もうそれでコロナ感染について触れる事も無いのかなと思っておりましたが、二日前に中学生の孫が感染してしまい、10日間の自宅療養と小学生の二人の孫と長男夫婦は5日間の自宅待機となりました。5月8日には5類になると言うのに最後の最後に感染してしまいました。幸い私達や、会社の者との接触は無く助かりましたが、この一年間会長を務めさせて頂いて例会でお話する度にコロナ感染のお



話にふれてきた様な気がしますが、家族が感染したのは、愛知県に住む末娘の家族以来二回目となります。もうコロナ禍も終わり、ウイズコロナ、アフターコロナと思っていたのですが、まだコロナ感染は現実に私達のまわりにひそんでいます。重症化はほぼ聞かなくなりましたが、まだまだ、注意は必要だと感じました。キャンプ場も昨年までと違って団体のお客様の予約が増加している様に感じております。これからは、コロナも一般の風邪と一緒に様になっていくのだらうと思いますが、キャンプ場での接客については、マスク使用で頑張りたいと思いません。5月21日(日)には関サイクリングツーリングイン 津保川のイベントでネイチャーランドかみのほキャンプ場に参加者の皆様に立ち寄って頂きます。鮎雑炊を皆さんにふるまおうと組合の皆ではりきっております。

又7月23日(日) 世界農業遺産 清流長良川の鮎と言う事で関市 農林課さん主催で、おひとり様、二匹迄 無料でつかみ取りして頂き、塩焼きしてもらい味わって頂くというイベントを昨年到现在開

催します。どうか皆様方にもお孫さん等と一緒に
ご参加下さい。

*会員卓話 川上 勉君

テーマ 親睦と奉仕

関中央ロータリークラブに1995
年に入会してから早くも30年近
く過ぎました。長いようで短い30



年でした。入会当初は不良会員であり、欠席も多く
又、早退することが多々ありました。

2011年に会長を務めさせて頂きました。会長ノミニ
ーに就任してからロータリークラブ活動について真
剣に考えました。毎月唱和されている「4つのテス
ト」の心構えの通りロータリークラブは、一言で言
うと親睦を通じて生まれたエネルギーをもって、
「他人に対する思いやりの心」を、「他人のために
尽くそう」と努力している団体と理解しました。最
近は、ロータリアン行動規範にも感化されていま
す。

ロータリアン行動規範は

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫
理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職
業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導
き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社
会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とす
ような言動は避ける。
5. 事業や職業における特典を、ほかの同僚ロータリ
アンに求めない。

以上です。お陰でどんなことも相談できるかけがい
のない友人ができました。結果、例会に出席するこ
とが、楽しみのひとつと思えるようになりました。
クラブ入会してから多くの委員会を経験させて頂き
ました。

今年度は、初めて親睦活動委員長をさせて頂いて
います。今日は、親睦活動委員会になって思った
事「親睦と奉仕」についてお話させて頂きます。

本題に入ります。ロータリーの資料によると、ロー

タリークラブは、はじめに「親睦」ありきにて発足
しました。ロータリークラブは、多くの友人を作
り、会員相互の親睦を第一義とした団体です。異業
種交流の場でもあります。心の許せる友と語り合
い、学びあい、信頼を深め、職業に有益な情報を交
換する団体ですね。しかし親睦を目的として出発し
たロータリーも、長く真摯な論議を重ねながら、大
きな変貌をとげました。その結果、現在のロータリ
ーの定款や細則の中から親睦の文字を見つけだすこ
とは難しく、僅かに親睦活動委員会の項目に、その
痕跡を止めているに過ぎません。現在では、ロータ
リー・ライフの中で親睦は不必要になってしまっ
たのでしょうか？よく奉仕と親睦は車の両輪だと言
われます。前輪が奉仕で進むべく方向を示し、そのエ
ネルギーは後輪の親睦によって推進力が生まれると
言われています。新会長の挨拶にも決って親睦と奉
仕という言葉が述べられます。

篠田ガバナーエレクトも地区協議会にて～ロータリ
ーは「親睦・学び・成長・奉仕」と言っています。
やはり、親睦が失われればクラブは崩壊するでしょ
うし奉仕がロータリー運動の大きな目的であること
は疑いのない事実です。世間で言われる親睦を図り
たければ、誰にだって無限の機会があります。

気の合った仲間とゴルフや旅行に行くもよいし、カ
ラオケや居酒屋でだって親睦を図ることができま
す。一人一業種だなんて料簡の狭いことをいわなく
ても、同業者同士でも充分親睦は図れます。ロータ
リアンになって、例会に出席しなければ親睦が図れ
ないと言う理屈を一般社会人に聞かれたら、こじつ
けとして笑われるかもしれません。ロータリーは敢
えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考え
る解釈と異なる次元に置いています。fellowship
を「親睦」と訳したことにも問題があるかもの知れ
ません。むしろ、「友情」とか「友愛」と訳す方が
理解し易かったかもしれません。

ロータリーが定義する親睦とは、一体、どんなこと
なのでしょう。ロータリーの参考資料では、ロー
タリーは思いやりのある平和な社会作りを目指して
いるとのこと。平和な社会作りに奉仕するもの
はクラブでは無く、ロータリアン一人ひとりだそう

です。ロータリアン自身の心の改善、すなわち奉仕の心の形成は、ロータリークラブの例会場での親睦を通して助長されると言われています。そのことを理解するために、ロータリーが発足した時代背景を思い出してみたいと思います。

皆さんご承知のとおり、ワットが蒸気機関を発明したことを契機に産業革命が始まりその結果、資本主義が発達し、19世紀後半から20世紀の初頭にアメリカに於いて爛熟期を迎えました。資本を蓄積した少数の人だけが成功者ともてはやされる、極端な資本主義の町では、同業者はすべて相手を蹴落とそうとするライバルであり、広告はすべて誇大か虚偽であり、濡れ手に粟のビジネス・チャンスを探し回る状態の中で、友情などが生まれる素地はまったくありませんでした。その中で同じ価値観を持ち、共にすべてを語り合える仲間の集まりとして、親睦を主体とした、ロータリークラブが発足しました。当初から一業種一人の職業分類に基づいて、会員を選考していました。

一人一業種制を定めた根底には、同業者の競争意識や対立による親睦の阻害を排したいとする、ロータリアンの友情がそこにあった事は間違いでは無いと思います。友情を中心に発足したロータリークラブの親睦と奉仕の関係は、ロータリー活動の実体を、見事に表した言葉として、[例会場に入りて学び、例会場を出でて奉仕せよ]という言葉があります。一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれる。毎週の例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践すること、これが理想とされるロータリー・ライフです。世に有用な職業すべてを正業と考えるロータリーの職業観から、職業の貴賤や上下関係を認めていません。大会社の社長も小さな商店の店主も、元請けも下請けも、すべて平等であり、すべての職業は価値あるものと考える処に、すべての職業は尊重されなければならないという発想が生じ、それが職業倫理を高めるという奉仕の心の形成に関係しているようです。

例会場にて、親睦あるが故、「或るときは師となり、徒となって、互に切磋琢磨しながら奉仕の心を形成」する事が可能になると考えられます。奉仕の心はロータリアン同士の親睦を通じて育まれますから、奉仕の心を形成する場は、即ち例会ということになります。例会を通じて、ロータリアン各自が、高質で豊かな奉仕の心を培うためには、例会出席は欠かすことのできない義務であり、別な言い方をすれば、他のロータリアンに対する友情の証でもあります。親睦活動委員会は、今後週に一度の例会を親睦と捉えて、例会場にて会場監督と連携して毎週の例会にて真の親睦が生まれるような環境を整備することが大切だと思います。親睦と奉仕は相反関係にあるのではなく、ロータリーの樹を支える根及び土壌が親睦であります。

*出席委員会

会員数 29名、本日の出席 16名です。

*ニコボックス委員会

・会長、副会長、幹事

本日は久しぶりの会員卓話です。川上勉会員のお話を楽しみにしております。

15名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第2101回 2023年5月20日(土)

米作り農業体験事業

場 所 小迫間(小川精器製作所前)

集 合 午前9時現地集合

担 当 社会奉仕委員会